

あだたら

三月十四日(日)

三月山行、郡山市中田町、中津川、ニツ石山

報告 □□□

第389号
発行所 郡山市
本誌編集 本松市
あだたら 山部
編集 部



10時49分、ニツ石と参加者

集合はちよっと遅めの午前九時二本松市役所。□□さんの車と□□□□さんの車に分乗して出発。登山口への入口、わかり

にくい。迷っていたら□□□□さんがナビで現在地を出してくれました。その後はナビで登山口迄入る事出来た。登山口に駐車場という広場

●編集部連絡先
二本松市郡内1-5-15
0243(22)4245
FAX可 渡辺 正

はない。広くなっている路肩を利用して駐めるわけだが、十台くらいは駐められそう。登山口には親切な案内看板がある。「山頂迄徒歩二十分」との表示もある。十時二十六分発。登り道の途中でペグマタイト見つけた。「石英」だ、実は阿武隈山地は「ペグマタイト」の有名な産地で、郡山市西田町(三春町の手前)には国指定天然記念物「鹿島神社のペグマタイト岩脈」があり、往復とも脇を通じた。白沢村白岩、大玉村家目田稲荷等でも大きなペグマタイト見る事できる。その上には「グリーンタフ(緑色の凝灰岩)」の露頭もあった。普段はくすんだ深緑色なのだが、なぜだか水に濡れてとても綺麗な緑色だったので撮影した。十時四十九分にはニツ石に到着。此処まで二十三分。参加者と一緒に写したので大ききよくわかる。「目に見えぬ/かたい契りで結ばれた/幸福(しあわせ)よぶ(ふたつ)いし」、□は女と男と石組み合わせた字「国字」と言うか「外字」というかそんなもの。ニツ石、男石と女石があると言う事か。賽銭箱もあ



11時2分、ニツ石山、山頂三角点にて

た。そこからは間もなく山頂広場、と言うか展望台、十時五十八分、三十二分掛かった。安達太良山は雲の中。郡山のビッグアイよく見える。枯れた芝生色は福島空港だ。目の前には鉄塔林立する黒石山。女性はフキノトウ痛んでいた。とにかく寒い、山頂で御飯食べるなんてことは出来ない。山頂三角点で集合写真撮影して、下山。途中から屏風岩に廻る。屏風岩のすぐ下が駐車場だ。十二時過ぎに、三春滝桜脇公衆トイレ下の駐車場で昼食。とにかく寒い日、ほぼ予定通りに二本松に戻る事が出来た。



ペグマタイト



屏風岩



ニツ石



令和二年度、福島県山岳遭難対策協議会表彰
今年度の県山岳遭難対策協議会の表彰は、コロナ禍の影響で、関係者が集まっていたの表彰式は無く、受賞者へ賞状・記念品が直接送付されました。当会の表彰者は以下の通りです。
《表彰状・活動二十年以上》
□□□□

三月十五日、宅配便で届いたものを開けて見ると福島県山岳遭難対策協議会長福島県知事内堀雅雄氏からの感謝状だった。何の心当たりの無い私、あだたら山の会会員の皆様の努力により、頂く事が出来たのではないかと思います。心よりお礼申し上げます。
□□ □□

遭難救助訓練に参加されている会員、実際に救助活動に参加された会員を対象にしています。

報告 事務局

三月二十七日(土)

三月山行・冬山。パトロール

報告 □□□



7時34分、岳温泉から安達太良山頂、登山者が2人

三月山行冬山パトロールは二十八日(日)の予定だった。しかし大分前から日曜日は荒れ模様になる、前日の土曜日は快晴で行楽日和、と言われていた。参加者は、□□さんと□□□の二人。会員外の□□□さんも参加の予定、で予定の前倒し話して見た。□□さんは駄目、□□さんは出られる、一応二人にはなると言う事で土曜日にした。

前日に富士急に電話、「明日冬山パトロールで、ロウプウェイ使わせて下さい」、「判りました。担当には話しておきますから、明日乗り場ですら話して下さい」。当日朝、奥岳迄道路に雪は一面所も無い。駐車場三分の一は車で埋まっていた、半分は車外の車だ。

山頂駅、駅の職員が、夏道沿いに誘導のロープ張っていたのでそっちへ進む。赤テープ少ない。今年冬山パトロールやっていない、

二月山行、私熱中症で動けなくなってしまう途中、下山、反省しています。今日は良く晴れて温かな日、風も無い。すぐ暑くなったので、防寒着脱いで、袖まわった。熱中症対策だ。仙女平分岐の平地は雪がないがそれ以外はしっかり雪道だ。樹氷坂の上からは山頂に向けて真っ直ぐ道付いている。九時五十八分山頂標柱到着。

山頂の八絃一字の塔、西側に落ちていた。正面を下にして倒れているので、何の塔であるかは判らない。塔の前の石祠、屋根だけ手前に落ちていた。方位盤台座、あった場所から、別の場所に転がったわけではなく、あった場所ですっきり返っていた。

山頂結構人がいたが、石塔倒れていることに気が留める人いなかった。大体そんなもんだ。十時三十四分下山開始。登る時と違って夏道を下る。大斜面を下る時、睡で急な雪面下る、その快感久しぶり。仙女平のあたりでユニフォームの回体上がってきた、よく見たら□□高松山岳部だった。ロープウェイ山頂駅の上で、山スキー履いたマスクの人に呼び止められた。すぐは判らなかつたが向こうから名乗ってくれた。前岳連会長□□さんだった。ちょっと話して、お互いに元気なこと喜んで別れた。薬師



道標は立っていた

岳山頂には、ロープウェイで登って来た軽装の人が沢山いた。山頂の登山者肉眼で見える教えた、子供に鐘撞かせたりした。五葉松平下がった。昨年十月に設置したアルミ梯子、二月十三日の地震で、石から外れたり、或いは石そのものが崩れたりして利用できなくなっている。かの確認だったが、梯子雪面から出ていなくて確認出来なかつた。

□□□□さんが、毎年設置してくれていた、五葉松平標柱脇の「冬季用ポール」、折れていて離れた場所から見付ける事、出来なかつた。今年からは「一会の作業として」ちょっと規模大きくして実施するようにしたいと思うが、如何がでしょうか。

山から帰ってきたら、頭の中スッキリしていた、下にいるときは頭の中に「もやもやした濃い煙のような物」が有るのだが、それが全く無くなったのだ。山に行ってくる時何時もこうなるので、とても嬉しいのだ。



須田さん撮影の写真

山頂の八絃一字の石塔落ちていた。二月二十八日(日)、二月山行冬山パトロールで同行した、会員ではなかつたが□□さんが登頂し、山頂で「八絃一字」石塔落ちていたのを発見、写真撮影して来ていた。おそらく二月十三日深夜の地震に依るものと思われる。塔の前に設置された石祠の

八絃一字塔は昭和十五年に安達郡連合青年団が立てた。石祠は不明。方位盤は昭和三十九年に会連製事務理事の□□□さんが寄贈した物。当面登山活動に邪魔にならない状態なので様子見で行きましょう。

因みに安達太良山頂は二本松市と郡山市の境界線上にあり(国土地理院JTB)、山頂三角点は二本松市大字永田字長坂国有林十二林班となっている(二等三角点の記、大関平)。

次の方から写真と情報載せました。

▼三月八日、□□副会長、
▼三月十八日、会員外、□□さん、
▼三月二十三日、□□□さん。

「参考」八絃一字(はっちはいぢう)、(「一字」は屋根も落ちていた。昭和三十九年に設置された方位盤の土台も倒れていた。三月四日に□□さんが事務局宅来訪、写真見せられた。六日の例会で写真と経過を報告した。市役所にも届けた方が良いと言う事で、書類を作成し、翌日観光課と生活環境課に届けた。既に観光課には岳温泉観光協会から連絡があったと言う事であった。

八絃一字塔は昭和十五年に安達郡連合青年団が立てた。石祠は不明。方位盤は昭和三十九年に会連製事務理事の□□□さんが寄贈した物。当面登山活動に邪魔にならない状態なので様子見で行きましょう。

因みに安達太良山頂は二本松市と郡山市の境界線上にあり(国土地理院JTB)、山頂三角点は二本松市大字永田字長坂国有林十二林班となっている(二等三角点の記、大関平)。

次の方から写真と情報載せました。

▼三月八日、□□副会長、
▼三月十八日、会員外、□□さん、
▼三月二十三日、□□□さん。

◆個人山行の記事下さい。メールだと有り難いのですが、FAXも受信できます。

◆前号で第一報出していた山頂の八絃一字石塔落下、写真一杯載せました。とにかく批判の多い物です、様子見です。

◆今年、春が早すぎます。毎日の様に霞ヶ城公園行って花の具合確認しています。一月くらいは確実に早い感じ。三月末で片栗咲いています。自宅庭では、編笠百合、鶯神楽咲いています。三月末の安達太良山もまるで山開きの時の感じ、実は気候は必ずどこかで釣り合い取るはず、それがどのような形で来るのか、ちょっと心配です。

◆世界を一つの家とすること。太平洋戦争期、日本の海外進出を正当化するために用いた標語(後略)広辞苑。



方位盤土台と三角点標柱

山頂の、八絃一字の石塔、落ちていました

報告 編集部

編集後記 三八九号